



題字:あいあい

あけましておめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。新春発行となる今号は「干支」をテーマにアートでふふふを各事業所から作品募集し2025年の干支である個性豊かな「へび」が登場しますのでお楽しみください。また、昨年に行われた事業所祭の様子も合わせてお届けいたします。



写真:清流園

謹

新春 **ふふふ** 福笑い

賀

SEIRYUEN GO

地域のみなさんとかかわる

【清流園】11月16日(土)に「SEIRYUEN GO」を実施しました。今回はゲーム、製品販売の他、利用者の作品を展示、ボランティアによるステージ(和太鼓、ダンス、ブラスバンド)を行い、来場した方々から「また実施してほしい!」との声をいただきました。



【杭瀬福成園】今年度も地域のみなさんとかかわる機会が多くありました。保育実習生や地域の方と防災訓練、社会活動での公共交通機関を使った外出など、社会資源を活用した活動をおこないました。いろんな方との出会いや外出活動でたくさんの思い出ができました。



まつミニフェスティバル

【サポートセンターまつば】11月に「まつミニフェスティバル」を開催しました。フィナーレのピンゴ大会ではどの番号が呼ばれるか利用者はドキドキ。マックカードやコーヒーセットなど豪華景品が当たった瞬間のうれしそうな笑顔が見られ、特別な1日となりました。



【あいあい】利用者の「やりたい・ここに行きたい」をかなえられるように選択の機会をたくさん設定し、あいあい祭り、ハロウィン、9カ所の事業所外活動などのイベントを実施しました。利用者からは「また行きたい・やりたい」などのお声をいただけ楽しんでいただけました。



カーニバル

【塚口福成園】11月2日(土)にカーニバルを実施しました。今年度は利用者のご家族にも参加していただき途中大雨警報が発令されるほどの天候でしたが、元スタッフによる血回しのステージや兵庫県立尼崎北高校の芸術鑑賞部による演奏会、最後には抽選会と大盛り上がるの1日でした。



尼崎城へ

【コヤリバ】公共交通機関の利用・手帳を掲示することで受けられるサービスを知る・余暇の過ごしかたを知ることを目的に自立訓練は尼崎城へ行く外出プログラムを実施。「また違う場所に行ってみたい、明日も行きたいです」と行ったばかりなのに早速話されていました。



の部分それぞれ切り取って左の顔で「ふふふ福笑い」を楽しんでください。

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は元旦に能登半島地震が発生し驚きや心配、不安を隠せない新年のスタートとなりました。微力ながら当法人としましても、兵庫県知的障害者施設協会に協力させて頂き、熱意あるスタッフ2名を派遣させて頂きました。
 それらの経験を踏まえ阪神地区手をつなぐ育成会様からお声が掛かり十月の保護者研修会「災害時の避難生活にどう備えるか」のシンポジウムにてスタッフを登壇させて頂きました。
 震災以外にも日銀マイナス金利解除、円安加速、新紙幣、パリ五輪・パラリンピック開催、新内閣誕生等様々なニュースがありました。山形秋田記録的大雨、南海トラフ臨時情報等、防災を改めて深く考える一年でした。
 法人内に目を向けますと新たな第七期マスタープラン「飛躍への助走」がスタートし、通所とグループホームの一体的な運営の更なる深化、強度行動障害支援等に力点を入れサービスの質の向上に努めました。一方、新たな時間単位による報酬単価が示され翻弄された一年となりました。
 本年も「我々のできることは何か」を確認しながらサービスの質の向上に努めて参ります。皆様にとって幸多き一年となりますように。

令和七年 一月 理事長 宮下 哲

新

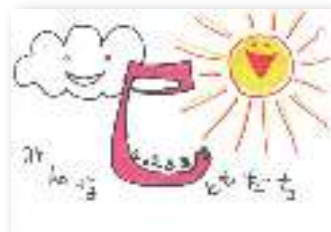
年

ア-ト de ふふふ

テーマ:へび



タイトル:巳
作者:分場利用者【清流園】



タイトル:巳
作者:就労継続支援B型利用者【塚口福成園】



タイトル:へびの愉快的仲間たち
作者:自立訓練利用者【チャレンジ・コヤリバ】



タイトル:へび年
作者:Bグループ【杭瀬福成園】



タイトル:巳
作者:A班グループ【あいあい】



タイトル:巳
作者:星班【サポートセンターまつば】

各事業所からの「ふふふ」

清流園

清流園では、コスモス畑に花が満開になる時期に利用者全員、花を観に外出しています。満開のコスモスの前に立つと、利用者からも自然と笑顔があふれます。その様子を見ているスタッフも「ふふふ」とします。

杭瀬福成園

調理実習の日にエプロンをバッチリ準備して待っていたAさん。順番が来ると、早足で調理室に来られ「何をしたらいいですか」と言わんばかりにスタッフの顔をのぞき込まれていました。楽しみにしていたことが伝わり嬉しくなりました。

あいあい

Bさんはスタッフが手洗いをしているとご自身のタオルをスタッフに見せて「これで拭いていいよ」とジュースチャーしてくれます。そんなBさんの優しい行動にスタッフからも笑顔がこぼれ、ほっこりします。

サポートセンターまつば

休み時間に利用者がトランプのババ抜きをしていました。ジョーカーが見えないように真剣かつ丁寧に隠しており、カードを1枚引くごとに変わる利用者の表情がとても良く、楽しんでいる様子が見られました。

塚口福成園

施設外就労で高齢者施設の清掃作業中、入居されている方が「いつもありがとう」と優しいお言葉をかけてくださいます。声をかけてくださる方も声をかけてもらえた利用者もどちらも笑顔になるすてきな瞬間です。

チャレンジ・コヤリバ

就労移行に特別支援学校からの実習生が来られ、利用者が実習生に「緊張するよね、頑張ってるね」と声をかけていました。実習生は「そのことがとてもうれしかった」と話されており、緊張する振り返りの場がほっこりしました。

尼崎市障害者就労・生活支援センターみのり

みのりのJクラブは、お仕事をされている方の余暇支援をおこなっています。オフの姿が見られ、新たな発見も。今回はビアガーデンでの飲み会。おいしいご飯を前に乾杯し、真面目な人も恥ずかしがりやな人も笑顔があふれていました。

ショートステイぷちるぽ

夜勤明けでミーツ・ザ・福祉社に行くとお世話になってます」「これからよろしく」とご家族から声をかけていただきました。直接ご家族とお会いすることの少ないぷちるぽだけに、ちょっと恥ずかしくもうれしい秋のひとつときでした。

共同生活援助

朝、ラジオ体操の音楽が流れると「1.2.3」と元気な声がリビングから聴こえてきます。その声に誘われるように次々と皆さん起きて来られ、自然と「ふふふ」と笑顔がこぼれます。その後は、みんなで朝ご飯を食べ穏やかな1日が始まります。

ことのは

相談者との電話で『買い物で購入したウナギが美味しかった!「お」から始まるスーパー!』と、突然の「お」クイズ。スタッフ全員で考えても不正解。レシートを見ていただくとマ〇〇〇。「マ」やん!と皆で大笑いでした。

総務部

コピー機を新調しました。印刷が静かで速く、お知らせ音がキュートです。以前のコピー機は時を重ね、疲れると悲しい音を立て、ストライキ。修理を呼ぶと機嫌よく印刷して困りましたが、よい思い出です。



サポーター

福成会の募集

みなさまの「思い」や「優しさ」が、
利用者の「笑顔」と「安心」をつくります。

福成会では、障害者福祉のより一層の充実のため、個人、法人、団体のみなさまからの寄附金の受け付けをおこなっております。サポーターからの寄附金を財源の一部として、みなさまの思いを有意義に活かしていきたいと考えています。たくさんのサポートを心よりお願い申し上げます。

① みなさまからのあたたかなサポートは、各事業所の備品購入や修繕、イベントの開催、車両や介護機器の購入など、利用者が笑顔で安心して過ごせるための環境整備や持続可能な法人経営のためにつかわせていただきます。

② 直接現金でのサポート以外に、オンラインサポート(クレジットカード決済)が可能となりました。ご負担の少ない低額(500円～)を毎月サポートしていただく方法も準備しております。



※また、福成会へのサポート(寄附)については、寄附金控除を受けることができます。詳しくは福成会ホームページにある「サポーター募集」をご覧ください。

編集後記

今年も1年、利用者・スタッフの皆様で「遊び心」を忘れず笑顔あふれる活動に取り組んでいければと思っております。広報誌以外にも福成会の最新情報や各事業所の様子はHP・Instagramでも随時発信しておりますので、ぜひご覧ください。

